

# 港湾振興便り



2017. 1

第116号

\*:\*\*

## 目 次

\*:\*\*

- 1 ポートエッセイ —日本の安心安全を高め  
港から日本の元気を—  
～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～
  
- 2 トピック
  - 「アザマラ・クラブ・クルーズ」が函館港を視察  
(函館市港湾空港部港湾空港振興課)
  
  - 海上自衛隊の第1掃海隊が志布志港に寄港しました  
(九州地方整備局 志布志港湾事務所)
  
- 3 お知らせ
  - ◇いわてポートセミナー 2017
  
  - ◇仙台国際貿易港首都圏セミナー
  
  - ◇水島港セミナー
  
  - ◇神戸みなとの知育楽座
  
  - ◇東京港親子社会科見学会
  
  - ◇長崎港ポートセミナーin東京
  
  - ◇釧路港利用拡大セミナー

\*:\*

## 1 ポートエッセイ

—日本の安心安全を高め  
港から日本の元気を—

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

\*:

皆さん、新年明けましておめでとうございます。今年も皆さんと共に、港湾振興を通じて地域活性化の実現を図ってまいりますので、よろしくお願いします。

私の住む新潟市は、ありがたいことに大変穏やかな年明けとなった。しかし、昨年を振り返ると年末の糸魚川大火災も含めて相次ぐ災害に見舞われた年であった。日本列島が大災害時代に突入していることを常に頭に置き、国土強靱化を早期に成し遂げる必要性を痛感している。

新潟市は、国土強靱化地域計画第1次モデル団体に指定されたこともあって、足元の安全度を上げる取り組みと、いざ太平洋側が広範囲に被害を受けた際に救援センターとしての機能を果たす「防災・救援首都」の視点からの拠点化を進めている。幸い、昨年の補正予算ではこの観点からの予算をかなりお認めいただき、日本海国土軸の強化にもつながる新潟駅付近連続立体交差事業などが大幅に進捗した。しかし、本来これらの事業費は当初予算に盛り込まれるべきものと考えている。

その意味で新年度予算案が良いものになるよう、昨年10月20日には「経済と暮らしを考える港づくり全国集会」に皆さんから集まっていただき大変ありがたかった。おかげさまで公共事業関係はわずかながらも増加となり、最低限の責任は果たせたかと思っている。

新年度は全国各地の港湾でクルーズ客船の誘致などで実績を挙げ、「地方の元気は港湾から」との考えを浸透させる年としたいので、よろしくお願いいたします。

閑話休題となるが、年末からプライベートでプノンペン(カンボジア)とホーチミン市(ベトナム)に行ってきた。共に16年ぶりの訪問だったが、両都市の活気は目を見張るものがあった。中でもホーチミンは5つ星ホテルの建設が相次ぎ、外国人観光客の姿が目立った。東南アジアの活力をどう味方につけるか、考えざるをえない旅となった。

一方では昨年末、安倍首相とロシアのプーチン大統領の会見が実現した。領土問題の進展はなかったものの、広い範囲での経済交流プロジェクト推進で合意をみた。中でもロシア極東の振興策は大きく前進する見込みだ。これからはロシアを含む東アジアの活力を地域の活力に結び付ける取り組みが非常に重要だ。今年も「グローバル」な視点を忘れずに、各地域それぞれで挑戦者魂を発揮していこう。よろしくお願いいたします。

\*:\*

## 2 トピック

\*:\*

### ● 「アザマラ・クラブ・クルーズ」が函館港を視察

(函館市港湾空港部港湾空港振興課)

平成28年12月1(木)から3日(土)まで、アメリカのラグジュアリークルーズ船社「アザマラ・クラブ・クルーズ」が函館港を視察しました。

函館の冬のメインイベント「クリスマス・ファンタジー」のオープニング、函館山からの夜景観賞のほか、10年前から外国クルーズ客船の寄港時に通訳ボランティアとして活躍を続ける「遺愛女子高等学校」を訪問し、生徒達から聖歌の合唱や英語による街の魅力のプレゼンテーション、客船の見送り時に行う「いか踊り」による歓迎を受けました。



遺愛女子高等学校で歓迎を受ける視察担当者

### ● 海上自衛隊の第1掃海隊が志布志港に寄港しました

(九州地方整備局 志布志港湾事務所)

12月3日から5日にかけて、海上自衛隊所属の第1掃海隊(掃海母艦「うらが」、掃海艦「はちじょう」、掃海艇「はつしま」の3隻(横須賀所属))が志布志港若浜地区に寄港しました。今回の寄港は、11月下旬に宮崎県日向灘沖で実施された「平成28年度機雷戦訓練」に参加した後の国内各地での一般公開の一環です。

掃海艇とは、我が国周辺海域における機雷の除去を主な任務とした艦艇で、また近年では大型掃海母艦の特性を活かした災害時の物資補給や、掃海艇等の機動性を用いた捜索救援に従事しています。

志布志港には3日に入港し、翌4日の2日間一般公開され、5日に出港しました。この一般公開では、志布志市民をはじめとした鹿児島県民や九州各県から来場された多くの方々が、掃海母艦「うらが」及び掃海艇「はつしま」に乗艦(約3千名)し、船内の装備品の見学や任務内容の説明を受けました。

艦船の周辺では、自衛隊グッズの販売や自衛隊車両の展示ブースが設置されました。またJR志布志駅前広場で開催された「ぽっぽマルシェ」(偶数月第1日曜日に地元商店街の方々が出店する市場)にも、自衛隊鹿児島地方協力本部マスコット(リックン、まもる君)が登場し、多くの来場者で賑う中、お子様連れの家族と記念写真に収まるなど、双方のイベントを盛り上げてくれました。

志布志港では、今後も港湾を舞台とした「賑わい」や「憩い」の機会を創出し、志布志港とともに地元「志布志市」の魅力発信に努めて参ります。



掃海母艦「うらが」(船長141m)



掃海艇「はつしま」(船長60m)



「うらが」(左)と「掃海艇はちじょう」(右)の大きさ



入港時の歓迎式典



船橋(ブリッジ)の見学



来場者と写真に収まる「リックン」(3等陸曹)



来場者と写真に収まる「リックン」(3等陸曹)



自衛隊車両の展示(何人乗っても大丈夫)

## ★「掃海隊」豆知識

1. 掃海隊の任務は、港湾や航路内に敷設された機雷や水中爆発物を取り除き、海上交通の安全を守ることです。また東日本大震災(平成 23 年3月)の際には、機雷戦部隊の全艦艇が行方不明者の捜索や、孤立した地区への物資輸送等の被災者支援を行いました。
2. 掃海母艦と掃海艇  
掃海母艦とは、掃海隊群の司令機能を担うとともに、自らが率いる他の掃海艇への燃料や物資の補給を行うことを主任務とする艦艇です。
3. 自衛艦の名称  
自衛艦の名称は、天象・気象、山岳、河川、名所・旧跡等から採用しており、掃海母艦は水道・海峡名から命名することとされています。  
今回志布志港に寄港した掃海母艦「うらが」は東京湾の浦賀水道にちなんで命名されました。

(出典)掃海隊群ホームページ (<http://www.mod.go.jp/msdf/mf/about/info/>)

\*:\*

## 3 お知らせ

\*:\*

### ◇いわてポートセミナー 2017

開催日時：平成29年1月30日(月) 16:00～17:30

開催場所：ホテルグランドパレス2階ダイヤモンドルーム

東京都千代田区飯田橋1-1-1 TEL03-3264-1111

定員：150名

セミナー：プレゼンテーション

岩手県及び県内港湾所在市における復旧・復興状況や港湾利用促進に向けた取組状況のご紹介

・復興道路等の整備状況

・国際リニアコライザー(I L C)の誘致の動向

・「三陸ジオパーク」の認定を踏まえた誘客活動の取組

主催：岩手県

共催：岩手県港湾協会、久慈湾総合開発促進協議会、宮古港利用促進協議会、釜石港湾振興協議会、大船渡港振興協会

問い合わせ：岩手県県土整備部港湾課

FAX:019-629-9130

### ◇仙台国際貿易港首都圏セミナー

開催日時：平成29年1月30日(月) 16:00～18:30

開催場所： ホテル椿山荘東京 プラザ棟5階「オリオン1」  
東京都文京区関口2-10-8

主催： 仙台国際貿易港整備利用促進協議会  
(宮城県、仙台市、仙台商工会議所)

内容： 東北・宮城に立地している荷主企業やコンテナ航路を有している船会社及び物流関係企業などに対し、コンテナ貨物取扱量が過去最高を記録する見込みとなった仙台塩釜港の状況及び今後の事業展開などの最新情報を提供する。

#### ◇水島港セミナー

開催日時： 平成29年1月31日(火) 17:00~19:45

開催場所： ホテル椿山荘東京 プラザ棟5階「オリオン1」  
東京都文京区関口2-10-8

定員： 250名

主催： 岡山県 水島港インターナショナルトレード協議会

#### ◇神戸みなとの知育楽座

開催日時：平成29年2月4日(土)14:00~15:30

会場：神戸市中央区波止場町 神戸海洋博物館ホール

概要：「神戸と結ぶ瀬戸の島々~よみがえる内航旅客船~」

講演者 加藤琢二(神戸旅客船協会会長(加藤汽船社長))

問合せ先：NPO 法人近畿みなとの達人

「神戸みなとの知育楽座 Part8」 TEL078-891-4561

#### ◇東京港親子社会科見学会

開催日時： 平成29年2月 5日(日)11:00~12:00

平成29年2月19日(日)11:00~12:00

平成29年2月26日(日)11:00~12:00

集合場所：有明棧橋(有明客船ターミナル)

募集人数：各回80名

対象者：小学校4~6年生とその保護者を含むグループ(1グループ4名まで)

参加費：無料 ※ただし、有明棧橋までの交通費及び解散後の有明棧橋からの交通費は自己負担となります。

申込方法：往復はがきで、お申込ください。

申込先：〒163-8001 新宿区西新宿 2-8-1

東京都港湾局総務課広報・国際担当 宛

◇長崎港ポートセミナーin 東京

開催日時：平成29年2月8日(水)15:30~19:00

開催場所：ホテル ルポール麹町

東京都千代田区平河町2-4-3

定員：100名

特別講演：流通経済大学流通情報学部教授 東京海洋大学明洋教授

日本物流学会前会長 苦瀬 博仁氏

「ロジスティクスの歴史と港の将来」

・長崎港外貿コンテナ航路・荷主向け助成制度のご紹介

主催：長崎市

問い合わせ：長崎市経済局 商工部産業雇用政策課内

長崎港活性化センター

TEL:095-832-6062 FAX:095-829-1151

E-mail info@nagasaki-port-advancement-center.com

◇釧路港利用拡大セミナー

～輝く「ひがし北海道」地域のゲートウェイ～

開催日時：平成29年2月16日(木)14:00~15:30

開催場所：全国都市会館 2階大ホール

東京都千代田区平河町2-4-2 TEL:03-3262-5231

定員：250名

講演：(一社)寒地港湾技術研究センター 代表理事 理事長 川合 紀章氏

「北極海航路と釧路港の可能性」

主催：釧路市・釧路商工会議所・釧路港湾振興会・釧路港湾協会・

釧路食料基地構想協議会

問い合わせ：釧路港湾協会事務局(担当 増田、高嶋)

三ツ輪運輸(株)経営企画室内

TEL:0154-54-3103 FAX:0154-52-4761

◇神戸みなとの知育楽座

開催日時：平成29年3月18日(土)14:00~15:30

会場：神戸市中央区波止場町 神戸海洋博物館ホール

概要：「神戸の姉妹・友好港と神戸港」

講演者 花木章(一社 神戸港振興協会専務理事)

問合せ先：NPO 法人近畿みなとの達人

「神戸みなとの知育楽座 Part8」 TEL078-891-4561

